

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ： 1 班

かわいい子には
旅をさせよ！

日付

2015. 10. 4

①大人に聞きたい！

SNSを利用していますか？

子供に聞きたい！

フィルタリングは必要ですか？

さらに聞きたい！

トラブルに合ったことはありますか？

最後に聞きたい！

**フィルタリングがあったら
回避できましたか？**

②フィルタリングはやりすぎ！？

・ 保護者がかける理由

有害なサイトを見せたくない



子供のトラウマにならないように

・トラブルを避ける



正しく使えば有用

規制するのではなく **教える** べき！

大人の意見を理解する

お互いに歩み寄り
話し合っていくことが大切

③モラル増強システム

警告によって踏みとどまる



ワンクッション



冷静化

たとえば

- 悪口警告システム
- 下書きシステム
- 顔検知システム

警告するだけ



自己責任へ

④まとめ

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ：

2 班

守れないルール

それって必要？

日付

2015. 10. 4

8時30分には寝なさい

大人はどうなんだ！

インターネットも同じでは？

例：携帯〇時まで
パスコード教えなさい
フィルタリング

守りたくないのはなぜか？

作る側と守る側の考えが違うから

例：フィルタリング

親の考え：トラブルから守りたいから

子の考え：縛りすぎ、不便

どうしたらいいのか？

お互いの考えを共有する



改善案

結論

ルールは否定しないが、
お互いが納得するものにする

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ： 3 班

公共の場でのスマホの使い方

大人が守っていない大人のルール

日付 2015. 10. 4

大人が作った子どものルール&マナー について考えよう

公共の場でのルール & マナー

問題点

- ①歩きスマホ →人にぶつかる、自分もけがをする
- ②イヤホンの音漏れ →迷惑、不快な気持ちになる
- ③大声での通話 →迷惑

対策

①立ち止まる・周りに気を配る

相手を思いやる

歩きスマホの危険性を知ってもらう。

→スマホを購入するときに講習を受ける

対策

②聞かないか、音量の表示を気にする

③緊急な時もあるから配慮しながら使う

周りが勇気をもって思いやりで注意、声掛けをする。

まとめ

- ・守りたくても守れないときがある。
- ・自覚を持ち自発的に自己責任で規制してもらおう
- ・大人と子供では基準が違う。また時代によっても変わってくる。

→なので話し合ってルールを作っていくべき

まとめ2

- ・土台となるルールの意味を理解することが大切。
- ・行動の基準は個人の価値観によるもので高校生個人の責任である。

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ：

4 班

I いま
C 変えたい
T つまらないルール

日付

2015. 10. 4

一方的にルールを決定しない



話し合う

インターネット

学校

家族

友達

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ：

6 班

SNSのトラブルの解決

僕たちはSNSの中でもLINEに注目しました

日付

2015. 10. 4

自分たちが考えた大人ルールとMyルール

具体的なLINEのトラブル

LINEのトラブルの解決策

LINEを規制する賛成・反対

賛成

- いじめが減る
- 規制することで不安感が減る
- 暴言が減る

反対

- 自由がない
- 現実的に無理がある
- LINEの特徴が生かされていない
- 根本的には解決しない
- 自分ことは自分で管理するべき

まとめ

小・中学生を持つ親はLINE監視を 義務づける

御静聴ありがとうございました

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！
～ 高校生のボクたちだから ～

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

開催地：神奈川

グループ： 7 班

新しい情報教育についての提言

日付

2015. 10. 4

ネット利用の現状

1. 自分たちは十分なネットリテラシー
を学べていない

2. それぞれの価値観の違いがある

学校でのSNS利用OKな例

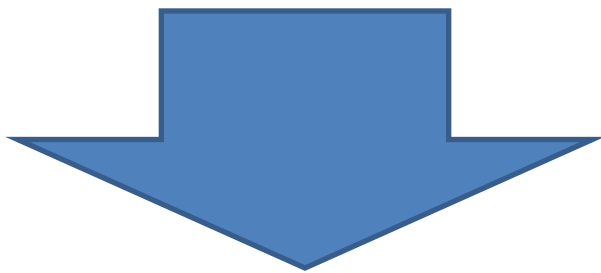
- **携帯の持ち込みOK**
- **ネット、SNSの利用制限なし**
- **校内での利用もOK**

学校でのSNS利用NGな例

- 携帯の持ち込みはOK
- 校内での携帯使用禁止
- ネットの利用制限はなし
- SNSの利用は一切禁止

現状を改善するためには

- SNSの危険を知ることが必要
- 国がSNSやネット利用に関する一定の基準(方針)を決める



**学校教育の現場でのネット利用のルール
への意識を共通のものとする。**

提言

1. 国でおおよそのSNSの
使用方針を統一する
2. 小学校で情報の授業を取り入れる

まとめ

学んだ上で自ら考えることが大切